

高津川 だより

INAUGURAL SPEECH 就任の「いあいさひ

特集 / LOOKBACK

2年目職員1年の振り返り

小さなお子さんへの薬の飲ませ方

季節ごとの行事・イベント

資格取得情報(令和5年4月〜7月)

外来担当一覧

L S P E E C H

[就任のごあいさつ]

2023年7月より 益田赤十字病院院長に 就任いたしました

院長 青木 明彦

令和5年7月より益田赤十字病院院長に就任いたしました。前任の木谷先生より院長という大役を拝命し、その重責に身の引き締まる想いです。

私は平成12年にこの益田赤十字病院泌尿科に着任し、平成24年に副院長となりました。

院長に就任するまでの23年の間に、分娩規制、医師不足、新型コロナウイルス感染症など多くの苦難を経験し、当時の院長をはじめ職員の皆様と懸命の対応で乗り越えることができました。またコロナ禍ではこれまで、学校・企業など多くの方々から、マスク等の医療物資・食料・メッセージなどの心温まるご支援をいただきました。我々は決して孤独ではないと心の支えになりました。この場を借りて感謝申し上げます。

益田圏域では、人口減少、少子高齢化、労働力不足が深刻な問題となっており、また医療を取り巻く環境も年々厳

しくなっており、地域医療構想では、地域の病院は自院の役割の見直しを迫られています。その中で、当院はこれからの、急性期、高度急性期病院として地域の皆様が必要とする医療サービスを提供し、地域社会に貢献して参りたいと思います。

私は国、企業など組織にとって一番重要なものは「人」であると思っています。病院を運営するにあたり、「必要な人材確保」、そして良質な医療を提供するために、「医療人の育成」も重要なテーマになってくると考えています。医療の進歩は日々速く、専門知識や技術の習得だけでなく、人間性やコミュニケーション能力も重要です。当院は医療従事者の育成に注力し、将来を担う優れた医療人を育成することを目指します。患者さまにとって安心できる医療チームを形成するため、教育・研修体制の充実に努めてまいります。

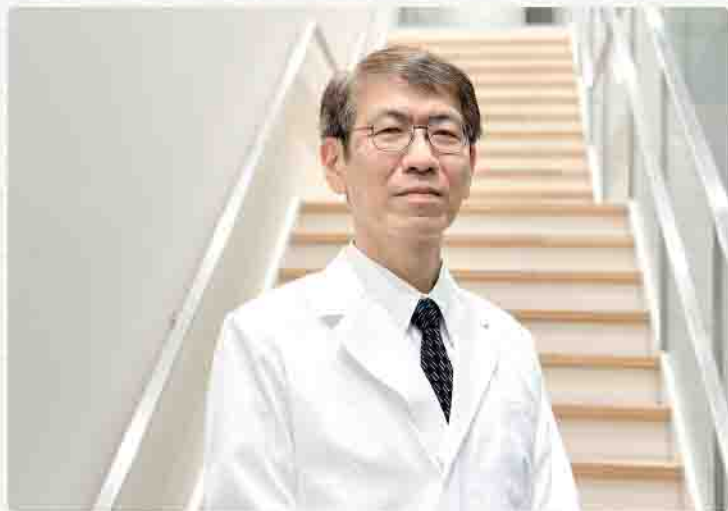
そしてこの圏域全体においても良質な医療の提供は、私たち個々の力だけでは提供できません。病院間の連携・介護施設との連携を常に考えながら病院の運営を行う必要もあります。

現在、圏域内全ての病院と医療連携協定を締結し、この圏域に貢献を続けたいとの気持ちで医療における様々な相互支援を行うこととしました。また介護施設との連携も今後一層充実させていく必要があると考えています。

医療は、介護や教育とともに地域の存続に不可欠なインフラです。この地域の皆様がこの地域に住んでよかったと思えるように、また次の世代にもこの病院を末永く引き継いでいくことを念頭に病院を運営してまいりたいと思っております。皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いたします。



I N A U G U R A



2023年7月より 益田赤十字病院副院長に 就任いたしました

副院長 松井 龍吉

令和5年7月1日付けで副院長を
拝命いたしました。
益田赤十字病院には平成24年4月に島
根大学医学部附属病院から脳神経内
科部長として赴任し、現在12年目となっ
ています。この度、青木院長のもと、地
域の核となる急性期病院としてさらな
る発展を目指すなかで、副院長を務めさ
せて頂くことになり、身の引き締まる思
いでおります。病院・地域に貢献できる
よう誠意と熱意を持って取り組む所存
でございます。

現在の益田圏域の医療を考えると、
当院のみで救急医療を担うことは困難
な状況にあり、近隣の医療機関の皆様
との連携強化が重要であると考えてお
ります。地域の高齢化が進む中、今後は
入退院センターも担当し、医療および
介護連携に取り組み、地域の皆様の安
全・安心に貢献してまいりたいと思っ
ております。また院内教育にも尽力し、
患者サービスおよび医療・看護の質向
上に取り組み考えております。今後も
多職種協働での取り組みを積極的行
い、お互いが尊重し合う職場づくりを
通して、地域の皆様から信頼され、選ば
れる病院を目指して努力してまいりま
す。微力ではありますが、引き続きご指
導ご協力の程よろしくお願い申し上げ
ます。

令和5年4月より益田赤十字病院
看護部長を拝命いたしました。新型コ
ロナウイルス感染症が「5類」に移行
し、少しずつ生活が元に戻りつつあり
ます。引き続き感染予防対策は必要で
すが、3年にわたり当院の感染予防対
策にご理解ご協力を賜り、心より感謝
申し上げます。
私は当院が赤城町にあった頃、この
病院で生を受けました。そして、新人
看護師として益田赤十字病院に就職
をし、15年前に皮膚・排泄ケア認定看
護師を取得、地域の皆様に育てて頂き
ました。今後も地域の医療機関、介護
施設との連携を取りながら、急性期・
高度急性期を担う病院として、さらな
る看護の質向上に向け全力で職務に
取り組む所存です。
看護部では、「患者さんの尊厳と意
思を尊重し、思いやりのある看護を提
供します」の理念のもとに患者さんや
ご家族、地域の方々の声に耳を傾ける



2023年4月より 益田赤十字病院看護部長に 就任いたしました

看護部長 檜谷 みどり

よう努めています。赤十字精神に基づ
いた、安全で思いやりのある質の高い
看護サービスを提供していきたいと思
います。また、地域における当院の
役割が果たせる「看護師の育成」にも
力を入れています。赤十字のキャリア
開発ラダーを活用した継続教育を行
い、看護師一人ひとりを大切に、成長
を支援していきます。そして看護職員
一人ひとりが「ポジティブマネジメン
ト」でお互いを尊重し、共に成長でき
る職場環境づくりに励んでいきます。
超高齢化(令和4年高齢化率41.3%)
が進む2040年へ向けて、地域の方々
が住み慣れた地域で自分らしく生活を
続けられるよう「赤十字看護」の実践を
行ってまいります。どうぞよろしくお願
いいたします。

LOOKBACK

信頼される「薬剤師」を目指して

薬剤部 薬剤師 河野 祥之



益田赤十字病院に薬剤師として入社し1年が経ちました。地元の島根県の医療に携われる喜びを感じるとともに、経験不足・知識不足を痛感する日々を過ごしています。

主な業務は調剤ですが、発行された処方せんの監査や持参薬の鑑別、入院患者さんへの薬の説明など多岐にわたります。どれも人体に直接影響を及ぼす薬剤を取り扱っているため、常に高い集中力を必要とし、不安もあります。しかし、先輩方や他職種の皆さんにご

2年目職員1年の振り返り

指導いただきながら日々成長できていると感じますし、患者さんからいただく感謝の言葉を励みに頑張っています。また、日本赤十字社の重要な役割の一つとして災害救護活動があります。災害時に被災地へ駆けつけ救護所の設置や診療、こころのケアを行います。私はこの理念に共感し、赤十字病院に

信頼される「看護師」を目指して

5階東病棟 看護師 藤田 佳奈

益田赤十字病院に看護師として入社し1年が経ちました。たくさんの自然のなかで心が落ち着き、優しくてあたたかい地域の方々がいる、そんな大好きな地元で看護師として働けることをとてもうれしく感じています。

私は主に脳神経内科・整形外科・歯科口腔外科などの患者さんが入院される混合病棟で勤務しており、医療行為だけではなく日常生活の援助を通して患者さんと関わり、日々たくさんのごことを学ばせていただいています。1年目は技術も知識も未熟で不安も大きく、悩むことも多かったですが、患者さんの笑顔やあたたかい言葉に何度も救われ、たくさんの方の元気をもらいました。そして先輩方の指導、支えのなかで少

入職することを決めました。1年目から救護班に任命していただき、院内の訓練や日赤薬剤師会の研修会に積極的に参加しています。いつ大きな災害が起きるかわかりませんが、そのときに備えて日々研鑽を続けていきたいと思っています。

しずつではありますが成長できたと思感しています。

患者さんやご家族の方から信頼されるためには、優しいというだけではなく、知識や技術が伴うことが必要です。2年目に入りましたが、まだまだ分からないことはたくさんあります。これからも学びの姿勢を忘れず毎日の患者さんとの関わりを大切にし、信頼される看護師になれるよう頑張っていきたいと思えます。





信頼される

「臨床工学技士」を目指して

臨床工学技術課 臨床工学技士

今岡 和嗣

益田赤十字病院へ臨床工学技士として入職してから1年が経ちました。当初は分からないことだらけで、何から取り組んでいけばいいの分からない状態でした。しかし、先輩方や他職種の方々の温かいご指導により、社会人として内面の成長やスキルの習得など、確実に進歩できた1年だったと感じています。

臨床工学技士は人工透析、循環器領域、人工呼吸器業務などの生命代行装置および医療機器を扱います。また、患者さんと接することも多く、そのため幅広い知識と専門性が必要であるとともに患者さんとの向き合い方が大切です。日々新たな経験ができ、覚えることの多さや、責任感を実感し大変な仕事だと感じますが、その分できることが増える度にやりがいを感じています。

2年目になり、まだまだ足りない部分が多く、さらに深い知識の習得が必要になってきています。また、より大きい責任が伴う業務が増えてきます。その中で、機械だけでなく患者さんを総合的に見ることができる臨床工学技士を目指していきたいと思っています。また、先輩方に学んだことや自ら学び考える姿勢を大切に、皆様から信頼される臨床工学技士になるために日々精進していきたいと思っています。

医療に貢献できる「放射線技師」を目指して

放射線科部 放射線技師 中村 奏菜



診療放射線技師として益田赤十字病院に入職して1年がたちました。放射線技師はレントゲンをはじめ、CTやMRIなどの診療に必要な画像の撮影を行っている。急性期からフォローアップの検査まで幅広い患者さんに接するため、なかなか対応の仕方が分からず不安になることも多かったですが、先輩方のフォローや他の職種の方々へ頼りながらも少しずつ職務をこなせるようになってきました。一人での日直や日直も始まり、医療従事者としての責任を感じています。

より有用な検査を行うためには医師の依頼や患者さんの主訴から適切な撮影法を考えながら検査する必要があります。

覚えることも多く様々な情報を把握しておく必要があります。目の前のことにいっぱいになって視野が狭まってしまうこともあり、後から反省することもあります。自分に足りていないものは何か日々省みながら、よりよい撮影が出来るよう心掛けています。

画像検査は医師の診断やこれからの治療にも関わります。未熟な点は多々あり自分の勉強不足を痛感することもあります。私たちの担う役割をしっかりと感じ、患者さんや医師、他の職種の方々から信頼されるような診療放射線技師を目指していきたいと思っています。

薬の飲ませ方

について



子どもの味覚は離乳食が始まる生後半年頃から成長していくと言われています。そのため、生後半年から徐々に薬を苦手に感じるお子さんが増えてきます。薬が苦手なお子さんに薬を飲んでもらうためには、薬の飲ませ方を工夫してあげることも必要です。

では、小さなお子さんへの薬を飲ませるタイミングと、飲ませ方について紹介します。

薬を飲ませるタイミング

薬は「食後」に飲むように処方されることが多いです。そのため、必ず食後に飲ませないといけないと考える方もおられます。しかし実は、小児に処方されるほとんどの薬は食事とは関係なく飲むことができます。お薬の袋に書いてある「食前」や「食後」の表記にとらわれ過ぎず、飲めそうな時に飲ませてあげてください。食中、食前でもかまいません。また、食事をしないと薬を飲んではいけないというところはありません。薬だけ飲んで大丈夫です。ただし、必ず「食前」、「食後」に飲む必要のある薬もあるので、薬剤師にご相談ください。

薬の飲ませ方

■粉薬

新生児から1歳前後のお子さんには、スポイトや哺乳瓶の乳首を使って飲ませることをお勧めしています。また、粉薬に1滴ずつ水を加えてお団子を作り、頬の内側か上顎のくぼみに塗ってからミル

クを飲ませる方法もあります。

1〜3歳くらいのお子さんには、スプーンに粉薬を乗せて一滴ずつ水を加え、ペーパーストック少しサラサラな液状になるまで溶かして飲ませる方法をお勧めしています。この時期のお子さんは薬が一番嫌がると思います。どうしても飲んでくれない場合は、ジュースに溶かして飲んだり、シロップ剤と一緒に処方されていれば、それに混ぜて飲んだりするのも一つの方法です。しかし、薬によっては他の薬や飲みものと相性が悪いものがあります。相性が悪いと味が変わったり、薬の効果が弱くなったりします。水以外の飲み物と混ぜたり、一緒に飲ませたりする場合は薬剤師にご相談ください。

4〜5歳くらいになると、大人の話が理解できるようになってくるため、なぜ薬を飲まなければいけないのかをきちんと説明して、理解してもらうことも大切です。理解ができると、薬が苦手なお子さんでも頑張ってくれることもあります。

■シロップ剤

シロップ剤は好きなお子さんが多いですが、たまにシロップ剤の甘さや香りが苦手なお子さんもあります。その場合、1回分を計量したあと少し水で薄めてあげるか、飲み終わったあとに水を飲ませてあげるといいかもしれません。それでも飲めない場合は、ジュースに混ぜてみていいです。ただし、シロップ剤の中には水やジュースと混ぜてはいけないものもあるため、薄めたい場合は薬剤師にご相談ください。

■漢方薬

漢方薬は苦手なお子さんが特に多いです。味が濃い飲み物やジュースで漢方独特の風味をごまかすと飲みやすくなることがあります。

特に苦みが強い漢方の場合、ココアに溶かして飲ませてあげてください。ココアは苦みが和らぎますので、とてもお勧めです。また、チョコレート味のアイスクリームや、服薬補助ゼリーに混ぜて飲ませてあげてもいいです。

ここで紹介した方法でも、なかなか薬を飲めないお子さん多いと思います。そんなときには薬剤師に相談してください。お子さんに合った薬の飲み方を一緒に考えましょう。



調剤の様子



薬剤師

栗山 万里子
(くりやま・まりこ)

病院勤務医師支援事業 赴任医師歓迎事業

5月2日(火)に益田市より病院勤務医師支援事業・赴任医師歓迎事業を開催していただきました。益田市長より、勤続10年となる医師と新たに赴任した医師に歓迎の意をお伝えいただくと共に、益田市の特産品の入った記念品を贈られました。

益田市長をはじめ、益田市地域医療対策室の皆様ありがとうございました。



救護班辞令式・研修会

5月16日(火)に日本赤十字社島根県支部より救護班の辞令交付式が行われ、救護班員となる職員36名に辞令書が交付されました。その後、救護所用テントの設営やトリアージ手順の確認などを行いました。



永年勤続表彰式

5月17日(水)に永年勤続表彰式が行われ、長年にわたり当院で勤務している職員に表彰状が授与されました。木谷院長より「当院がこれまでしっかり医療を継続できているのも皆さんのおかげです。これからもよろしく願います。」とねぎらいと感謝のメッセージが送られました。

タフマンV寄贈

5月22日(月)に山陰ヤクルト販売株式会社様より「地域の医療機関においては厳しい対応が続いており、そこで働く医療従事者の皆様へ感謝と敬意を込めて。」というご厚意により、当院職員へタフマンVをご寄贈いただきました。この度は本当にありがとうございました。

ANAグループさんから「しあわせの花すずらん」のプレゼント

5月23日(火)にANAグループ様より、すずらん贈呈行事を行いました。1956年より続くこの行事は今回で68回目を迎え、4年ぶりに対面での開催となりました。

ANAグループスタッフの方が院内保育所の園児や入院患者さん一人一人にすずらんとしおりを渡し、受け取った園児や入院患者さんには自然と笑みがこぼれていました。

ANAグループの皆様、今年も本当にありがとうございました。



資格取得情報 (令和5年4月~7月)

[認定施設]

●一般社団法人 日本肝臓学会 日本肝臓学会専門医制度 特別連携施設

益田赤十字病院 外来担当一覽

令和5年8月1日現在

科 別	診 療	月	火	水	木	金	備 考
内科	午前	岡本 栄祐 (総合診療)(初再診)	波多野 拓也 (総合診療)(初再診)	波多野 拓也 (総合診療)(紹介のみ)	岡本 栄祐 (総合診療)(紹介のみ)	波多野 拓也 (総合診療)(初再診)	予約の表示は、予約患者さまのみ 隔週の火曜日：高橋 勉 医師(島根大学内科学第三) 隔週の木曜日：鈴木 律朗 医師 (島根大学血液・腫瘍内科学教授) 膠原病リウマチ内科 ※完全予約制 火曜日(交互診療)：近藤 正宏 医師(島根大学内科学第三) 高野 育子 医師(島根大学内科学第三)
	午後	—	—	岡本 栄祐 (総合診療)(初再診)	—	—	
	午前	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	竹谷 海 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	竹谷 海 (内分泌・代謝)	又賀 建太郎 (内分泌・代謝)	
		馬庭 泰久 (血液・免疫)	高橋/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)	鈴木/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭 泰久 (血液・免疫)	
	午後	—	田部 諒 (消化器)	—	田部 諒 (消化器)	田部 佳奈子 (消化器)	
		園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)	天野 和寿 (消化器)	園山 浩紀 (消化器)	山口 祐貴 (消化器)	
		山崎 整児 (呼吸器) 5:2	—	山崎 整児 (呼吸器) 5:2	新井 健義 (呼吸器)	山崎 整児 (呼吸器) 5:2	
新井 健義 (呼吸器)	近藤/高野 (膠原病リウマチ内科)	—	—	—	—		
循環器科	午前	川波 由佳	内田 利彦	手術日のため 休診	内田 利彦	黒田 紘章	心カテ日：月～金曜日
	午前	—	黒田 紘章		川波 由佳	—	ペースメーカー外来：第1木曜日(予約)
	午後	—	—		ペースメーカー 外来 5:2	—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
脳神経内科	初診	松井 龍吉	休 診	松本 源樹	松井 龍吉	中川 知憲	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
	再診			木谷 光博			
小児科	午前	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	三浦 勤	※完全予約制(但し、1ヶ月健診、3ヶ月未満の乳児を除く) 午前・午後ともに初診は紹介患者さまのみ 循環器外来：偶数月第4火曜日(予約)、 奇数月第4木曜日(予約) 神経発達外来：瀧川 遼 医師(浜田医療センター 小児科) 第2水曜日(予約)
		中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	中島 香苗	
		真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	真玉 千紘	
	午後	—	循環器外来 5:2	神経発達外来 5:2	循環器外来 5:2	—	—
午後	予防接種	予防接種	乳児健診	乳児健診	予防接種	—	—
外科	初診 紹介	三浦 義夫	黒田 博彦	手術日のため 休診	植嶋 千尋	服部 晋司	手術日：月・水・金曜日
	再診	植嶋 千尋	服部 晋司		三浦 義夫	黒田 博彦	緩和ケア外来：木曜日午後(予約)、 乳腺外来：火曜日 13時～(予約)
		—	—		秋月 光	セカンド 5:2 オピオイド外来	セカンドオピオイド外来：第1金曜日(予約) (島根大学医学部消化器・総合外科教授)
	午後	—	乳腺外来 塩田 摂成 5:2		緩和ケア外来 服部 晋司 5:2	—	—
脳神経外科	午前	休 診	休 診	機能的脳神経外科 専門外来 完全予約制	石原 秀行 岡 史朗	休 診	第1・3・5木曜日：石原 秀行 医師(山口大学 脳神経外科教授) 第2・4木曜日：岡 史朗 医師(山口大学 脳神経外科) 機能的脳神経外科専門外来：第3水曜日(完全予約制) 井本 浩哉 医師(山口大学 脳神経外科)
	午後			井本 浩哉			
整形外科	初診 紹介	米井 徹	手術日のため 休診	小川 慎也	手術日のため 休診	上村 篤史	初診は紹介患者さまのみ
	午前	上村 篤史		米井 徹		小川 慎也	手術日：火・木・金(午後)曜日 検査日：月・水・金曜日
		大塚 哲也		—		—	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
皮膚科	午前	金子 栄	金子 栄	金子 栄	金子 栄	—	初診は紹介患者さまのみ(金曜日は紹介不可)
	午後	上野 彩夏	上野 彩夏	—	—	上野 彩夏	アトピー外来：火曜日午後15時～16時30分(予約)
泌尿器科	初診 紹介	青木 明彦	篠原 陽平	矢野 誠司	手術日のため 休診	矢野 誠司	手術日：火曜日午後・木曜日午後 CAPD外来：月曜日 午後
	再診	矢野 誠司	青木 明彦	篠原 陽平		青木 明彦	休診日の対応：救急車受入・救急紹介のみ
産婦人科	1診	波多野 渚 片桐 敦子	片桐 敦子	担当医	担当医 片桐 浩	片桐 浩	※完全予約制 予約電話受付：平日の14時～16時
	2診	片桐 浩	片桐 浩	片桐 敦子	波多野 渚	片桐 敦子	
	午後	片桐敦子(再診) 健診 5:2	—	手術 マニピュラス 5:2	片桐 浩(再診) 健診 5:2	手術	
耳鼻いんこう科	午前	休 診	休 診	休 診	大学医師	休 診	紹介患者さまのみ(受付：8時～11時)
眼科	午前	高井 保幸	高井 保幸	高井 保幸	高井 保幸	金島 千紘	初診は紹介患者さまのみ 手術日：月・火・金曜日
	午後	手術 5:2 高井保幸/金島千紘	手術 5:2 高井保幸/金島千紘	高井保幸/金島千紘 5:2	金島 千紘	手術	午後の診療は14時開始(手術日は開始時間が遅れることがあります) 受付時間：(月)火) 10:30 終了 (水)木) 11:00 終了
放射線科	午前	椋本 英光 5:2 放射線治療外来	松浦 史奈	松浦 史奈	松浦 史奈 5:2 放射線治療外来	応援医師	院外検査：月～金曜日(予約) アンギオ日：火・金曜日(午後) 放射線治療外来：島根大学応援医師(専門医) 予約：月曜日 第2・4週 9:00～15:00 / 木曜日 第1・3・5週 13:00～15:00
麻酔科	午前	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	術前診察のみ	—
歯科口腔 外科	初診 紹介	森岡 怜音	森岡 怜音	手術日のため 救急紹介のみ	森岡 怜音	森岡 怜音	初診は紹介患者さまのみ 手術日：水曜日 腫瘍外来： 第4水曜日：菅野 寛浩 医師(島根大学医学部歯科口腔外科教授) 第1・2・3・5水曜日：奥井 達雄 医師(島根大学医学部歯科口腔外科)
	再診	—	—				

お問い合わせ先 / 益田赤十字病院 地域医療連携係

〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103番地1

TEL.0856-22-1480(代) FAX.0856-32-3314